

の集い開催



皆で一緒によされ行進。会場の盛り上がりが最高潮に

話に花が咲いて沢山の笑顔が溢れた

4月13日長慶閣にて、年金友の会相幸会春の集いが開催された。総勢124人の方が集まり食事やお酒を楽しみながら会員との久しぶりの再会に話を弾ませていた。

最初に相幸会会長の大澤昭夫さんが、「毎年この春のイベントを楽しみにしている」とあいさつ。三上組合長の祝辞のあとは相幸会副会長の三上鶴雄さんが行い声高らかに乾杯をした。

余興では紙漉沢獅子舞保存会が参加し、笛や太鼓での生演奏を交えての演舞を披露しストーリー性のある内容で会員を楽しませていた。

聖愛高校によるチアリーディングも披露し若い力を惜しみなく使いパワフルなダンスで見える人全員を魅了した。また、普段の練習内容や複数人での組み合わせ技の名称も披露した。

さらに、当JA金融課による余興では山本リンダの「狙い撃ち」の歌に乗せてダンスが披露された。一人一人個性がある衣装で見ている人を引き付けていた。その後、会員の方々によるカラオケ

～年金友の会～ 相幸会春



最高の笑顔で元気を与えた聖愛高校チアリーディング



豪快な舞を披露した紙漉沢獅子舞保存会



当JA金融課によるキメポーズが輝いた



余興に沢山の拍手で会場が沸いた



とても気持ちよく歌いデュエットも息ぴったり

も披露され、一生懸命、楽しく迫力ある歌声や、春の訪れのような伸びやかな歌声に会場は拍手と歓声に大いに沸いた。最後に「相馬でよされ」という題名で音楽にのせて女性陣が主体となり、会場の皆さんが飛び入り参加し、会場全体を踊り歩き、お祭りのような感覚で楽しむことが出来た。帰り際多くの方々に感謝の言葉をいただき、JA職員も達成感に包まれていた。次回の冬の開催も期待に込められるよう頑張つて参ります。